

## 市長と語る タウンミーティング

テーマ「選ばれるまち、住みやすいまちにするアクションは、今がその時!!」

日時 平成25年7月30日(火) 午後7時～午後8時40分

会場 鶴ヶ岡コミュニティセンター／研修室

天気 晴れ

参加者 55人

主な意見等 (◆・・・参加者 ☆・・・市長)

◆市立中学の教育改革と、高齢化による町会の抱える問題を解決してほしいという2つの要望を述べる。中学時代は一番記憶力が良く、能力が伸びる時期なので、中学1年時の成績によって、2年生からのクラス編成を能力別編成にして、成績の良い子どもはどんどん伸ばし、成績の悪い子どもには分かりやすくゆっくり授業を進めることによって、学年全体の平均能力をアップさせることができるので、それを取り入れてはどうか。この一番の狙いは、ふじみ野市から優秀な人材を輩出すること、また、市立中学で英才教育をすることにより、市外から若い人の転入を増やすことである。高齢化による町会の抱える問題では、今の町会長は年間80回市に呼び出されると聞いている。鶴ヶ岡4丁目は、1年任期の輪番制でやっているが、高齢化によって、平均年齢の高い自治会は町会役員を引き受けるのも段々難しくなってくる。年間80回の会合に呼ばれては、高齢者の方にも負担は重く、現役の勤労者も、会社を休んでまで出席はできない。その結果、高齢化した町会長の後継者が出てこないのは、どこの町会でも抱える共通の問題。町会の仕事をやらされるのが嫌ということであれば、脱退する家庭が増える。そうすると、町会という組織が成立しない。また、合併してから町会の負担が重くなったという声も聞こえる。いかにして今後、世代交代をしていくかを考えてもらいたい。

☆子供たちの教育は、日本の場合、文部科学省の教育指導要領に基づいて進めていくが、ふじみ野市独自のものも取り入れていって良いと思う。現在行っているICT教育もその一つである。能力別の教育は、現在ふじみ野市でも、少人数指導と併せて習熟度別教育をやっている。クラスを2～3つに分けて実施している。ご提言いただいたとおり。私立の小・中学校に行かせる家庭もあるが、公立であれば、ふじみ野市の学校に入れたいと思ってもらうことで、市外から若い人たちを呼び込んでいくということが重要であると思う。高齢化による町会活動について、町会の在り方は、今後考えていかなければいけない大きな課題だと思う。合併してから呼ばれることが増えたという指摘だが、今は課題が増えてきているのも事実。合併したから増えたのではなく、新しい課題が増えてきたことに加え、東日本大震災をうけて、防災対策が増えてきた。

万が一、大災害が起きた時、町会に入っていない人たちに対し、炊き出しを食べさせないということはないが、最低限近くに住んでいる人たちが力を合わせるということは大事なこと。そもそも市民の皆さんが市を担っていく主であって、市役所は取りまとめをしている。納めていただいた税金を配分したり、どういう方向で使っていくかを市民の代表である議員の皆さんも含めて考えて、それを進めていく。市として災害や防犯、福祉などの取り組みをやっているが、市民の方から委ねられてやっていると思っている。今後、町会等の負担を減らしていく方法の一つとして、町会の役員の引き受け手がいないので大変だと思うが、町会長だけではなく、副会長やその担当の方ができるシステムが大事だと思うし、それを助け合っていこうということが大事。若い人たちは会社を休んでまで行けないが、なんとかそのシステムを変えるために、私たちも一緒に協力をしたり、加入促進も一緒にやっていきたい。いろんな方法を作り出していきたいと思う。

- ◆提案を2つ申し上げたい。紙おむつの問題と、投票率の問題について。現在、町会でごみ集積所の巡回をしている。今は、若い人たちも増え、紙おむつが増えてきている。一方で、環境課の分別も進んできて、県内でかなり良い成績になっていると聞いている。ただ、必然的に高齢者も増えれば紙おむつの世話にもなるので、それを再利用できないか。手法の一つとして、鳥取県のとある町で、紙おむつを溶かして、綿状・脱臭し、ペレットにして燃料に使用する。この燃料が木質ペレットより2割5分くらい強度が高いそう。検討をお願いしたい。投票率の問題では、直近の参議院選挙で、埼玉県は51.21%で全国平均より下回っていた。ふじみ野市は53.29%、県内全市で13位。1位は飯能市の58.56%。地域と協働して10%アップして、65%くらいを目標にした方が良い。今は、防災無線で周知したり、成人した人にチラシを配ったりしているが、さらに、投票所にスロープを付けて入場しやすくしたり、杖を置く台を用意したり、記載台を低くしたりとかの配慮をしてはいかがか。期日前投票の場所も増やして、自治会館や分館、駅や総合病院でもできるようにすれば、増加すると思う。

☆投票率については、国政選挙でようやくこのレベルとなっている。前回の市長選では42%しかなく、その前が45%くらい。2人に1人は行っていないことになる。選挙に行かない人たちも、思いはあるかもしれないけど行かない。せつかくの権利であり、まちや国を支えていく人を決めるので、ある意味義務でもあると思う。なので、投票率を上げていく方策をしなければならない。ある国では、選挙に行かないとペナルティがあるところもある。でも、本来は民主的に自発的にやるのが良い。ご指摘があったスロープは全投票所で設置させていただいているが、杖置きがあっても良いし、記載台で低いものがあっても良い。公職選挙法のルールはあるが、期日前投票も駅前に投票所があったら良いと思う。工夫すれば投票率を上げられると思う。また、紙おむ

つのリサイクルについては、先進事例のお話もいただいた。子ども優先の政策をして、若い人たちも入ってきている。紙おむつについては、担当課と協議して検討をしていきたいと思う。

- ◆この地区はコミュニティという面でもとても良いと思う。町会でイベント等を開催し、皆さんと顔見知りになれたりできるので、とても住みやすいというのが、私の住んでいる感想。私は、運動クラブをやっており、ネットを利用した公共施設予約システムができてから、予約しやすくなって助かっているが、競争率が高く、予約を取りたくても、取りにくくなってきている。また、同じ時間帯に他の利用者が予約済みスペースにも関わらず、実際にその日に行ってみると、ドタキャンなどで空いていることがある。私は大井総合体育館をよく使っているが、行ってみるとそういう状況がよくある。大井清掃センター跡地にもスポーツ施設ができるとのことなので、もし、ドタキャンなどで空いている場合は、スムーズに使わせてもらえるようなシステムを考えていただけたらありがたいと思う。

☆公共施設予約システムについては、そのような課題がある。公共施設に空きがない、場所がないと言っているのに、行ってみて、空いていたらなぜだろうと思う。このシステムの主体は市役所なので、ドタキャンの対応や、使うか使わないかわからないが予約をとること、予約がいっぱいなのに実際は空いているなど、現状を調べて対応をとっていききたいと思う。

- ◆西小学校へ給食を持ってくるトラックが家の裏の狭い道路を1年くらい前から通過する。朝5時20分頃から始まり、1日8往復くらいする。通過する道路は、かなり狭いが、そこを給食の4tトラックが入ってくる。また、道路脇にブロック塀もあるため、見通しが悪い。道路も一部砂利道なので、通ると衝撃音もする。給食を持ってくる車なので、通るなど言うことではなく、道路の安全性と整備、スピード制限等をして、安全性の確保をしてほしい。そこの道路は、人も自転車も自動車も通る。小さな事故は今までもあったが、給食の車との事故が起きる前に、なるべく早く一時停止等の規制や道路整備をし、安全にしてほしい。

☆特に小学校周辺の道路ということや、道幅が狭いということもあるので、安全性の確保を優先に、整備というのはすぐにはできるものではなく、中々難しいが、まず市として何ができるのか、どんな規制がかけられるのかということをやっていききたいと思う。

- ◆マクドナルドのある交差点は、雨が降った際、かなり雨水が溢れている。また、鶴ヶ岡の区画整理地内に降った雨は、遊水池に集まるようになっている。昔は、そこに集まった雨水も溢れていた。しかし、合併以前の並木道の下に管を入れて、そちらは解

消した。マクドナルドの交差点は、大雨が降った際に、亀久保交差点の方から流れてくる雨水もあり、その交差点が大水になる。なぜそれを解消できないのか。並木道の下にかなり大きな管があるから、そちらに流せば良いと思う。

☆一昨日の夕方の土砂降りの時に、その交差点を通った。その時は、そこまでひどくはなかったが、道路脇から水が出ていた。本来は吸い込む所がそのような状況だった。そこは、当時整備された時より雨量が全然違う。少しでも解消できるように、オーバーフローした水を分散できるよう改善策を早急に考えていきたいと思う。

◆大井武蔵野地域のことで、家の前の通りがスクールゾーンで一方通行となっている。大雨の際に、道路が低いので、排水のところが逆流して、水が吹いてしまっているのので、それを改善してほしい。

☆関越自動車道付近の雨水対策は、三角交差点の下水改良で多少改善されてきている。しかし、大井武蔵野の一方通行付近は、1、2年前にあった台風の際に、その地域を見させていただいたが、確かに水が吹いていた。関越自動車道西側の付近で降った雨は、亀久保西町会や三角町会の水も含めて、砂川堀の方に落とすというのが県の雨水対策の計画だが、現在は進んでいない。それをやるには何十億もの費用がかかる。なので、関越自動車道より西側に調整池を3カ所くらい作れば緩和できているが、それにも10億円程度かかるので、順序づけてやっていきたいと思う。特に大井西中付近から作れば、子供たちのスクールゾーンのエリアも何とかできると言うことで、概略設計の段階までできている。まだ時間はかかるかもしれないが、その課題についてはスタートしている。

◆騒音問題で悩んでいる。鶴ヶ岡にあるフットサル場の騒音について、規制はできないのか。前々から言っているが、もし他の場所にもできた場合はどうするのか。その時にやっと動くのか。野外スポーツ施設と住宅地が共存できるのかとすることを考えてほしい。バイクなども騒音だが、すぐどこかにいってしまう。フットサル場は、1時間くらい騒いで、入れ替えがあり、またうるさくなる。子どもたちがやっているから怒鳴りたくはないが、やはり体験しないとわからないと思う。なんとか規制してもらえないのか。

☆本来であれば民民の問題であろうが、周辺の方とフットサル場の業者の方と中継ぎして話し合いの場を設定した。中々思いはあっても形は進んでいない。できれば法の規制をかけてほしい、本当に困っている人たちは大変であると言う思いは重々承知している。現在の都市計画法などの法律による規制が難しいのが現状。また、確かに住宅街なので、そういうものは、できればできてほしくないという思いが周辺に住んでい

る方にはある。一方で、規制をかけてしまうと、そこに土地を所有している人たちの資産価値を落としてしまうということにも繋がる。日中、子どもたちが楽しんでいるのであれば、文句を言いたくないという話も、夜の遅い時間になってくれば、子どもたちの楽しんでいる声は、騒音になってしまう。今の法律上、どこまでどういうことが今後可能なのかを考えていきたいとは思いますが、規制をかけるというのは、課題も多いので、その点をご承知おきいただければと思う。

- ◆市報についてのお願い。なぜ、市報はカラーにしなければならないのか。その費用がもったいない。他の市町村でも新聞みたいな用紙を使っている。さらに裏には、これは再生紙ですと書いている。今のカラーのようなきれいなものではなくて、再生紙や新聞紙みたいな紙を使えば、市の財政も全然違うと思う。

☆今年の5月まで、広報紙は2色刷で、6月からカラーになった。紙は再生紙を使っている。費用についても、今までと同じ金額で入札した業者が、自分たちの技術で2色刷ではなく、カラーでできるという提案だった。これは、まさに企業努力であり、民間活力です。カラーになるが、経費は今までと同じという内容を広報にも掲載したが、説明不足でご理解いただけなかった点は申し訳なかった。それだけまちのことを考えていただきありがたく思う。今のご指摘は、広報紙に限らず、そういった思いで行政を進めていきたいと思う。